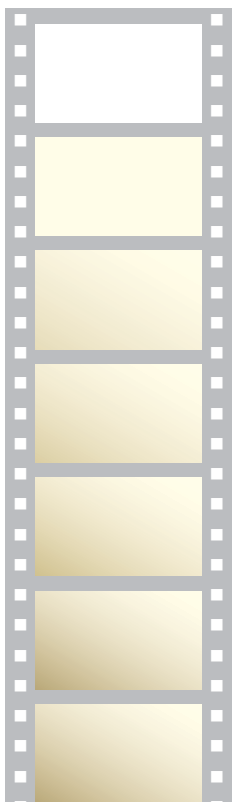


伸<sup>ノブ</sup>さんのシネマトーク

鈴木 伸夫



## 第五回 「ジョン・ドレイクに魅せられた男」

読者の皆さんは、「パトリック・マッグーハン」というアメリカ・ニューヨーク生まれでイギリス育ちの、映画製作者、映画監督、また、俳優でもあった人をご存じですか？残念なことに彼は（09年）1月13日、80才で亡くなりました。

（28年）3月19日生まれのマッグーハンは、7才の時、両親とともにアイルランドへ戻り、その後ヨークシャーに移りました。大学卒業後、アマチュア劇団に興味を持ち、舞台監督から俳優に転じ、各地の劇団を経て、27才の時、映画とテレビのシリーズ物でデビューしました。そのなかでも「ジョン・ドレイク」が主人公のスパイ三部作シリーズの第一部「秘密命令」は、最初、30分番組でした。

♪ 「秘密命令」（原題名デンジャーマン） 30分版

音楽メインテーマ 作曲 エドウィン・アストレー

演奏 レッドプライスコンボ

Q ナレーション (酒井哲)

アメリカのCIA

フランスのDeuxieme Bureau

♪ イギリスのMI5と各国それぞれに

秘密情報局を持っているが、

NATOにも同じ秘密情報機関がある。

私はそこで働いている。

私の名はジョン・ドレイク。

きょうの事件は… (略)

物語は、NATO (北大西洋条約機構) の特別諜報員ジョン・ドレイクが、条約加盟の各国に潜行して情報活動を展開するスパイアドベンチャーで、ヨーロッパ各国の大都市にロケをして製作されたスケールの大きなドラマです。

「秘密命令」出演の時、マッグレーハンは31才でしたが、面長の顔、思慮深いまな

ざし、スマートな身のこなしのアクション、そのすべてが主人公の「ジョン・ドレイク」に成り切っていました。番組は好評で、第二部は30分から60分番組への拡大が決まりました。

実は、007シリーズが映画化される時、ショーン・コネリーよりも先に「ジェームズ・ボンド」役のオフアーがマッグーハンにあつたというのもうなずける話です。しかし、マッグーハンが007を引き受けなかつたのは、「ジョン・ドレイク」にいろいろな魅力を感じたからにほかありません。ぼくが考えるには、ドレイクは武器を持たない。素手で闘う。危険な時は頭を使うなどの方法で危機を脱する。これが大前提になっているからではないかと思うからです。

♪ 「秘密諜報員 ジョン・ドレイク」 60分版

♪ 英国版

タイトル

「デンジャーマン」

♪ 日本版

タイトル

「秘密諜報員」

ジョン・ドレイク」

♪ 米国版

タイトル

「シークレット」

エージェント」

メインテーマ

「ハイ・ワイヤー」

作曲

エドウィン・アストレー

演奏

エドウィン・

アストレー楽団

メインテーマ

「ハイ・ワイヤー」

作曲

エドウィン・アストレー

演奏

エドウィン・

アストレー楽団

主題歌

「シークレット・

エージェントマン」

作詞・作曲（共作）

P・F・スローン

ステイプ・ペリ

唄

ジョニー・リバース

訳詩 原田愛子

Q

会う者すべてを生命の危

険へと導く男がいる

行動する時はいつも見知

らぬ他人を装う

チャンスとみればくらい

つく

気をつける、明日も生きて

お天道様を拝みたけりゃ

(略)

米国版では、英国版や日本版にはない、ジョニー・リバーズの歌う主題歌がメインテーマとして差し替えられ、アメリカのヒットチャートにランキングされました。

さて、「ジョン・ドレイク」の話には、まだ続きがあります。マッグーハンは、よほどのこと、この「ドレイク」という男が好きになったのでしよう。60分シリーズが終ったあと、辞職したスパイを描いた「プリズナーNo.6」（原題「プリズナー」というタイトルのテレビミニシリーズ（全17回）を自ら製作・監督・主演をしているのです。この作品は、「ジョン・ドレイク」の第三部という内容のサスペンスドラマで、元NATOの国家機密にかかわっていた男が、辞表を上司へたたきつけ、旅に出るところを拉致され、「村」と呼ばれる場所に軟禁される話です。「ドレイク」は何度も「村」からの脱出を試みますが、成功しても連れ戻される。その攻防もおもしろみのひとつですが、ロケ地の「村」の美しさ、登場人物が着る統一された衣裳、そしてグッズの数々など、何度見ても新しい発見があつて、楽しく、なかには、西部劇で描かれているエピソードもあります。

今年の春、アメリカのAMCとイギリスのITVにより6回シリーズで「プリズナーNo.6」がリメイクされ、ケーブルテレビで放送されました（No.6にジム・カヴィーゼル、No.2にイアン・マケラン）。しかし、ストーリーの味つけが甘く、オリジナルの統一もなく、がっかりしました。やはり、オリジナルに優るものではありません。

パトリック・マッグーハンは、もうこの世にはいませんが、テレビでは「ジョン・ドレイク」三部作のほかに、「刑事コロンボ」の旧作・新作の監督や出演、劇場用映画では、「アルカトラズからの脱出」「大陸横断超特急」「ブレイブハート」など、コメディーから歴史劇まで幅広く出演しています。

「ジョン・ドレイクよ永遠に！」

（了）

（文中敬称略）

伸

（平成22年8月）